
第5回三朝町議会定例会会議録（第7日）

平成27年6月17日（水曜日）

議事日程

平成27年6月17日 午前10時開議

（質 疑）

- 日程第1 議案第53号 平成27年度三朝町一般会計補正予算（第2号）
日程第2 議案第54号 平成27年度三朝町水道事業会計補正予算（第1号）
日程第3 議案第55号 笑顔いっぱい子育て支援のまち宣言について
日程第4 議案第56号 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について
-

本日の会議に付した事件

（質 疑）

- 日程第1 議案第53号 平成27年度三朝町一般会計補正予算（第2号）
日程第2 議案第54号 平成27年度三朝町水道事業会計補正予算（第1号）
日程第3 議案第55号 笑顔いっぱい子育て支援のまち宣言について
日程第4 議案第56号 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について
-

出席議員（12名）

1番 石 田 恭 二	2番 吉 田 道 明
3番 池 田 雅 俊	4番 能 見 貞 明
5番 中 信 貴美代	6番 山 口 博
7番 清 水 成 眞	8番 藤 井 克 孝
9番 福 田 茂 樹	10番 平 井 満 博
11番 牧 田 武 文	12番 山 田 道 治

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 山 根 猛 昭 副主幹 小 椋 智 子

説明のため出席した者の職氏名

町長 吉 田 秀 光 副町長 岩 山 靖 尚
教育長 朝 倉 聡 総務課長 石 原 伸 二
会計管理者 山 根 智 美 危機管理課長 大 村 哲 也
財務課長 赤 坂 英 樹 町民税務課長 片 岡 里 美
福祉課長 新 寛 子育て健康課長 前 田 敦 子
農林課長 青 木 大 雄 企画観光課長 椎 名 克 秀
建設水道課長 米 原 英 章 教育総務課長 小 椋 泰 志
社会教育課長 西 田 寛 司 社会教育課参事 松 原 照 宗
社会教育課（図書館）参事 馬 野 真由美 農業委員会事務局長 吉 田 弘 幸
ブランナールみささ支配人 小 椋 誠

午前 9 時 5 8 分開議

○議長（山田 道治君） ただいまの出席議員は 12 名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日、届け出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。

以上、報告をいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

日程第 1 議案第 53 号 から 日程第 4 議案第 56 号

○議長（山田 道治君） お諮りいたします。議事の進行上、この際、日程を変更して、日程第 1 から日程第 4 の 4 件の議案を一括議題としたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 御異議なしと認めます。よって、この際、日程を変更して、日程第 1 から日程第 4 まで、すなわち議案第 53 号から議案第 56 号までの 4 件の議案を一括議題といたします。

これより質疑に入ります。

質疑は、議事の進行上、1件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第53号、平成27年度三朝町一般会計補正予算（第2号）について、まず歳入についての質疑を行います。29ページについて、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、歳出について、30ページから36ページまで、質疑ありませんか。

10番。

○議員（10番 平井 満博君） 34ページの非常備消防費の中の消防団運営費、一般経費の部分で、説明では女性消防隊が佐賀県に行かれるというようなことですが、基本的にはどういう目的、説明では婦人消防隊の加入促進というようなことがありましたけど、東京に全国大会に出席される方以外の消防隊員が行かれるのか、同じ人たちが行くのか、そこをちょっとお聞かせください。

○議長（山田 道治君） 大村危機管理課長。

○危機管理課長（大村 哲也君） 現在のところ編成については団のほうにお任せをしております。それで、今この予算では、地域の安全・安心な暮らしの担い手としての男性消防団員との協働を促進して、消防団の体制強化と女性団員の加入促進につなげたいという目的のもとに、メンバーとしては7名を考えさせていただいております、女性団員については、以上でございます。

○議長（山田 道治君） 10番。

○議員（10番 平井 満博君） 今はまだメンバー構成は決まってないということですが、基本的には新たな婦人消防隊員の加入促進ということになれば、新たな人たちが研修に行かれるべきではないかというふうに思いますけども、今後どういう人選をされるのか、またお聞かせください。

○議長（山田 道治君） 大村危機管理課長。

○危機管理課長（大村 哲也君） 消防団のほうと協議して、今の意見をもとに検討させていただきたいと思います。以上でございます。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

4番。

○議員（4番 能見 貞明君） 関連質問ですが、これ先ほども平井議員が言われましたけど、今度、全国大会に行かれるわけですが、この件については当初予算にはなかったですけど、なぜでしょうかね。

○議長（山田 道治君） 大村危機管理課長。

○危機管理課長（大村 哲也君） 能見議員が言われるとおり、当初予算には上げておりませんでした。4月に入りましてから県の消防協会のほうから全国大会の操法大会に女性隊が行かれると。そのような機運の盛り上がりのもとに、今後の活動を活発化させてはどうかというようなことで、全国の女性消防団員活性化大会、佐賀大会への女性の派遣について検討されてはどうかというような照会があったものでございます。

○議長（山田 道治君） 4番。

○議員（4番 能見 貞明君） 県のことを言っちゃったらいけんでしょうけども、県は昨年からわかつとったと思うんですけども、佐賀県であるというのを。急遽言ってこられたわけですか、それは、4月に。

○議長（山田 道治君） 大村危機管理課長。

○危機管理課長（大村 哲也君） 例年取りまとめについては4月以降の取りまとめになっておるように聞いております。

○議長（山田 道治君） いいですか。

ほかにありませんか。

9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 35ページ、小学校費の中の教育振興費、大相撲伝統文化体験学習事業130万、ぶつかり稽古というような説明があったと思いますが、もう少し具体的に、どういうメンバーがどういう形でそこへ出て、結局は一日おるのかおらないのかというところも含めて説明をお願いします。

○議長（山田 道治君） 小椋教育総務課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） この大相撲伝統文化体験学習事業ということですが、子供たちの対象としては町内の小学生、1年生から6年生の全児童約370名おりますけども、全児童をこの大相撲の倉吉の秋巡業に出席をさせたいというぐあいに考えております。大人数ですので、大ざっぱに言いますと、午前と午後に分かれて入れかえみたいな形にさせていただいて、それです観戦というのを基本にしたいと思っております。

ぶつかり稽古につきましては、実行委員会のほうから約30名から50名程度参加させてほしいという依頼が来ております。この人選につきましては、これから学校と協議をしながら、大体11時から12時ぐらいの間に30分間程度の中で、そういった体験ということで、どうもさせていただけるということですので、そういったことでこれから詰めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（山田 道治君） 9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 1 年生から 6 年生まで全学年、全生徒、大変いいことではないかというふうに思っております。ぜひ日本の伝統の文化を味わせてください。終わります。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

6 番。

○議員（6 番 山口 博君） 33 ページの林業振興費でございますが、森林 I C T 推進事業、それからもう 1 件、林業創生オーストリア技術導入推進事業の具体の中身と期待される効果等がわかれば、御説明願いたいと思います。

○議長（山田 道治君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） 林業関係の 2 つの事業について説明をさせていただきます。

まず、森林 I C T 推進事業でございますが、この事業は、総務省が行います I C T まち・ひと・しごと創生事業というものを導入いたしまして、森林に関する情報を電子化、整理をしまして、町及び森林組合で共有をしながら進めていこうとするものでございます。

森林情報には、森林の例えば樹種ですとか、林齢ですとか、そういった類いのものと、地理空間情報といいまして、林道であるとか、地形図とか等高線とかといったもののデータがございますが、現在それぞれいろいろな形で森林組合及び町が、もしくは県が持っております、こういったものを一元化しまして、言葉では見える化と言ってますけれども、航空写真等とあわせながらデータを整理してまいりたいと思っております。

この事業の効果でございますけれども、そういった形で情報を共有することによりまして、例えば施業履歴の過去の状況ですとか、所有者の状況というようなものがデータを積み重ねることによって、より使いやすいものになってくるということがございまして、施業の効率化という点が 1 点ございますし、森林全体を町も含めて見ていくということで、新しい森林の使い方ですとか、生かし方というようなことを考える上でのツールとしても期待をしておるところでございます。

続きまして、林業創生オーストリア技術導入推進事業でございますが、これは鳥取県が地域創生も絡めまして企画をしていただいた事業でございます。オーストリアという国がヨーロッパの中央部にありまして、大きさを申しますと北海道より少し小さいぐらいでございます。人口は 850 万ということで、国の大きさを比較すれば小さいんですけれども、林業先進国ということで、就業の状況とかを鳥取県に持ち帰ろうということで、調査を実施するというのを県がプランを

いたしました。

対象としまして、林業に積極的に取り組んでおる、そして源流域というような形で県内4つの町を対象に仕組まれた事業でございまして、対象となります町の職員、関係する森林組合の職員等で編成して調査を行うということでございます。予定は10月の中旬というふうに今聞いておるところでございます。そういったものを持ち帰りながら、県としては圏域の林業をということですし、三朝町としましては総合戦略の時期でもございますし、積極的に山を生かすという視点で参加をしたいということでの予算要求ということでございます。よろしく願いいたします。

○議長（山田 道治君） いいですか。

ほかにありませんか。

3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） 32ページですけども、保育所費、保育所職員人件費760万の大幅な減額補正になっております。この内容、それからその下の保育所施設維持修繕費、この中身についてお伺いいたします。

○議長（山田 道治君） 石原総務課長。

○総務課長（石原 伸二君） 職員の人件費につきましては、4月の人事異動に伴いまして職員数の増減並びに役職等の関係で調整して、このような形になっているものでございます。以上です。

○議長（山田 道治君） いいですか。

○議員（3番 池田 雅俊君） いや、もう一つある。

○議長（山田 道治君） 前田子育て健康課長。

○子育て健康課長（前田 敦子君） 保育所施設維持修繕費の内訳でございます。2つございまして、賀茂保育園のウッドデッキの全面改修ということでございまして、これにつきましては、県が新たに設けた子育て施設木づかい推進事業費補助金を活用するものでございます。

それからもう一点、みさきこども園につきましては、定期検査の際の指摘事項がございまして、例えば遊戯室の引き戸の転倒防止の金具でありますとか、それから園庭の藻が生えておりまして、子供たちが転倒、滑るというふうなこともございますので、そのものの撤去などがございます。

○議長（山田 道治君） いいですか。

ほかにありませんか。

8番。

○議員（8番 藤井 克孝君） 35ページ、先ほど福田議員が言われました教育振興費、大相撲伝統文化体験学習事業、これはなぜ小学生に絞られたのか、お聞きいたします。

○議長（山田 道治君） 小椋教育総務課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） 対象として小学生にどうして絞ったのかということですが、基本的には相撲実行委員会からのほうの要請としては、小学生の子供たちにぜひ見させてあげてほしいというような要望もございました。そういったところから、児童の数等を勘案した結果としては、当然校長会等とも相談した結果として、小学生というのが適当ではないかということでの小学生ということでもあります。以上です。

○議長（山田 道治君） いいですか。

8 番。

○議員（8 番 藤井 克孝君） 中学生140人、そういうのもやっぱり検討をするべきではなかったかなとは思いますが、その中学生と小学生の差というのはどのように考えておられるのか。

○議長（山田 道治君） 小椋教育総務課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） 思いとしては、当然中学生ももちろん見ていただければ非常に子供たちの印象には残るのではないかという思いはあります。予算的なことも含めまして小学生ということで、校長等にも打診しながらの決定をしたというところでもあります。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

ほかにありませんか。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 36 ページの日本遺産魅力発信推進事業です。当初予算40万ほどになっておりました。まだあの時点では日本遺産認定にはなっていませんでしたが、160万と大幅なアップになっております。この中身につきまして説明を求めます。

○議長（山田 道治君） 西田社会教育課長。

○社会教育課長（西田 寛司君） 日本遺産魅力発信推進事業についてでございますが、こちらにつきましては、現段階で文化庁への要望書を提出し、ヒアリングを受けた段階でございます、これから申請ということに具体的になってきます。文化庁からの指示・指導を受けた上での申請になりますので、現段階で要望したものについての内容について説明させていただきます。

事業項目としましては、情報発信・人材育成事業、普及啓発事業、公開活用のための整備にかかる事業の3つの柱で事業が組み立てられております。主なもので言いますと、情報発信・人材育成事業としましては、啓発のためのパンフレットあるいは日本遺産の学習用テキスト、ポスター、そういうようなものを作成する経費でございます。さらに、日本遺産に対する理解を皆さん

に深めていただくために、ガイド養成ということで、そういう講座を持とうと計画しております。

普及啓発事業といたしましては、日本遺産認定に伴う記念講演を計画しております。さらに、日本遺産について理解を深めていただくため、モニターツアーという格好で三朝町以外からお越しただいて、その説明について深めていくためのそういう事業を考えております。さらに、現在設置されている説明看板等についても、新たにQRコード等、インターネットを使ったような形で看板整備というものも考えております。

これらを積み上げていった中で、文化庁とのヒアリングで端数あるいは対象経費、対象外経費という区分けの中で自己負担してくださいという額を積み上げていきますと、しようとする事業に対して約160万程度、要望段階で必要だということで、今議会で補正ということに提案させていただきます。以上でございます。

○議長（山田 道治君） 3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） 今の説明の中で人材育成という言葉が出てきましたが、この人材育成、どういう人材をどのように育成するのか、そのところをちょっと説明願います。

○議長（山田 道治君） 西田社会教育課長。

○社会教育課長（西田 寛司君） 先ほど御説明申し上げましたように、日本遺産ガイド育成という現在事業名で行おうとしております。日本遺産、六根清浄と六感治癒の地というこのストーリーを皆さんに的確にわかりやすく説明していただくような、そういうガイドを養成するものでございまして、今現在、三朝温泉街歩きガイドあるいはラジウムリエあるいは三徳山の有償ガイドの皆さんがいらっしゃいます。その方々と連携をとりながら、さらにガイドになり得る方々の養成を行っていかうとするものです。以上です。

○議長（山田 道治君） 3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） ガイド育成で、このガイドさんはボランティアなのか、あるいは有償でガイドをしていただくと、またこの予算の中から謝礼を払うのか、そういったところもひとつお願いします。

○議長（山田 道治君） 西田社会教育課長。

○社会教育課長（西田 寛司君） こちらのほうの予算の内訳につきましては、ガイド養成のための講座に対する講師謝金等を計上してるものでございまして、具体的に有償ガイド、無償ガイドということについては、有償の方にここで報償費を払うとか、そういうことは考えているものではございません。以上です。

○議長（山田 道治君） そのほかありませんか。

6 番。

○議員（6 番 山口 博君） 30 ページの企画費ですけれども、コミュニティー助成事業補助金 250 万円、これはみささ村に足湯のセットを購入ということを知っていましたけれども、これは固定するものなのか、あるいはイベントごとに、いろんなところに持って行って使ったりするようなものなんですか。その辺をちょっと説明願います。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 移動式でございます。みささ村地域協議会でございますが、他の地域協議会さんにおかれましても活用いただけるような仕組みで進められるものでございます。

○議長（山田 道治君） いいですか。

ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、37 ページ、38 ページ、給与費明細書及び全般について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で議案第 53 号、平成 27 年度三朝町一般会計補正予算（第 2 号）に関する質疑を終結いたします。

議案第 54 号、平成 27 年度三朝町水道事業会計補正予算（第 1 号）、41 ページから 50 ページについて、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認めます。進行いたします。

議案第 55 号、笑顔いっぱい子育て支援のまち宣言について、51 ページ、53 ページ、質疑ありませんか。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 笑顔いっぱい子育て支援のまち宣言について、非常にいいことだと思います。ここに書いてある宣言ですが、町長、ただ宣言するだけなんではないでしょうか、あるいはこれをもとに一種の憲法のような形で、これにもとに子育ての支援という施策を進めていくのでしょうか、お聞かせください。

○議長（山田 道治君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 我が町で子育てに関しての宣言を今回行いたいと、その議決をぜひ議員

各位に御賛同いただきたいというものであります。宣言をただしておるだけでは、町民の皆さんにどのように周知をしていくのか、あるいはどういった形でアピールしていくのかというような課題があるかと思えます。今、担当課等で検討を加えていただいている内容について、現段階、担当課長から答弁をさせたいと思えます。

○議長（山田 道治君） 前田子育て健康課長。

○子育て健康課長（前田 敦子君） 宣言に係るその後のどのように進めるかということでございます。このたびの補正予算でお願いをしております子育て応援ハンドブック及びポータルサイトの構築というふうなことをお願いしているわけなんですけど、この場におきましても、宣言の中身についてQRコード等をつくりながら掲載をしていくというふうなことを考えております。さらに、町のウェブサイトでの掲載も考えましてPRを考えているところでございますが、この宣言につきましても、今後もさらに町内外へのPRという視点で予算的に必要な事業がございました折には、議会の皆様に御相談を申し上げていきたいというふうに思っております。以上です。

○議長（山田 道治君） 3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） この宣言文、非常にすばらしく、ぜひこのとおりにやっていただきたいというふうに願っております。

そこで、1つだけ気がかりなことが、気になることがあります。第3段落の2行目です。町や地域が一丸となってというふうに書いてあります。地域とのかかわりをどのように考えておられるでしょうか。

○議長（山田 道治君） 前田子育て健康課長。

○子育て健康課長（前田 敦子君） この地域と記載してございますのは、10次総の中で町ぐるみで子供を支援というふうなことがございました。具体的にどのようなことをということでございますが、現在実施しているものがファミリーサポートセンター、それから支援センターに皆様がおいでいただける、そのような幅広い門戸を広げまして、皆様が御利用いただける制度というものを地域ぐるみで周知をさせていただきながら進めていきたいと考えております。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

10番。

○議員（10番 平井 満博君） 宣言の文章の中の下から2行目、子ども・子育て支援新制度の施行を機にというふうな書いてあるんですけども、何か新たな取り組みをされて、その以降、今、池田議員に言われた、そういう発信の部分なのか、新たな取り組みをされるのか、そこをちょっとお聞かせ願いたい。

○議長（山田 道治君） 前田子育て健康課長。

○子育て健康課長（前田 敦子君） 子ども・子育て支援新制度でございますが、これは全国が、国が実施する制度ございまして、それを町がどのように具体的な事業として実施していくかということでございます。まず、今年度、新年度予算で保育料の軽減ということで、第2子以降の保育料の軽減ということを議会のほうでお認めをいただきました。それから、このたびの補正予算で上げておりますように、PRをして、町は子ども・子育てに関して力を入れていく、イメージを発信するということに力を入れていきたいと考えております。さらに、新年度予算の中で、これから実施となっていくわけでございますが、子育て元年ということで記念イベントの開催等も考えてございます。そのような中で、支援の充実をさらに検討してまいりたいと思っております。以上です。

○議長（山田 道治君） 10番。

○議員（10番 平井 満博君） この支援制度というのは国の制度が施行されてという考え方で、三朝町もそれに追随するという考え方でよろしいでしょうか。

○議長（山田 道治君） 前田子育て健康課長。

○子育て健康課長（前田 敦子君） おっしゃるとおりございまして、3月議会の後に、議員の皆様には三朝町子ども・子育て支援事業計画をお配りしたところでございます。内容につきましては、今後さらに充実をしていくということでございます。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

ほかにありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結します。進行いたします。

議案第56号、損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について、55ページ、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認めます。進行いたします。

○議長（山田 道治君） 以上で本日の日程は終了しました。

本日はこれにて散会いたします。

午前10時25分散会
